

岐阜県立岐阜工業高等学校で防災講座を行いました

令和6年10月10日（木）、岐阜県立岐阜工業高等学校で土木工学科の2年生18名に水害と地震の防災講座を行いました。大正15年に創立された約100年の歴史がある学校で、近くには境川が流れています。

水害の講座では、発生から65年を迎えた伊勢湾台風についてAI対話システムを活用しながら学習し、VRによる浸水疑似体験を行いました。VR体験後にはどのような避難行動を選択して結末はどうなったか友人同士で話し合っており、「怖すぎる」との声が上がっていました。また、学校の想定される浸水深や、実験で越水による堤防決壊を確認した際には驚いた様子で、水害の恐ろしさを再認識して頂けた様でした。

地震の講座では、濃尾地震や元日の能登半島地震など過去に発生した地震、長周期地震動、学校周辺でも発生の可能性がある液状化現象などについて学習しました。実験を交えながら説明を行ったことで、より理解が深まったとの声を多く頂きました。

講座を通して、「新しいことを色々知ることができたので、家族などにも教えていこうと思った。」、「今日学んだことを忘れず、実際に起きたときにしっかり行動できるようにしたい。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水
害



地
震

